

新会長に外瀬泰宏氏

会員各社の研さんに力注ぐ

フローリング協会・総会

フローリング協会（外瀬泰宏会長）の総会が17日、静岡県熱海市内で開催され、任期満了に伴う役員選任のなかで、新会長として外瀬泰宏氏（ピスムカンパニー）が選任された。

前身の東京フローリング問屋協会から4年

外瀬 新会長

にわたりの会長を務めた小黒邦雄前会長（孝和建商）は、退任のあいさつで「会長を2期努めることができたのも、皆さんのおかげ。当社の小林総務部長が事務局として活躍して

くれた。屋内運動施設で適切な管理の不備が原因でフローリング事故が起きると、木質フローリングがいけないのではないかと言われることがある。だからこそ認知向上が必要であるし、他団体との交流も重要だ。そのためにも次の役員体制へ伝えたいことは、活動できる費用の重要性だ」と語った。

また新会長の外瀬氏は「求心力溢れる小黒前会長の後任となると荷は重い。だから皆さんの協力、支持をお願いしたい」と語った後、役員5氏を紹介した。なお新役員として川鍋順三郎（明治リビング）、森隆之（三勇床工事）、瀬田明宏（三光建販）の3氏が選任された。

昨年度は新たに2社、1団体が加盟。前期中央官庁、首都圏自治体への協会PRや各種部会活動を展開した。今年度も引き続き会員各社の研さんやPRなどの活動に努める方針だ。